



まちづくり

大潟

まちづくり大潟広報版

お知らせ 第79号
 発行 まちづくり大潟
 発行責任者 小池 吉則
 発行日 平成24年3月1日
 TEL/FAX 534-6810/6815

HP <http://o-gata.hs.plala.or.jp>
 E-mail bz821727@bz03.plala.or.jp

《ボランティア募集》 高速道側道クリーン作戦を実施します。

ごみを拾いながら、地域を見つめてみませんか!

- 日時 平成24年3月25日(日) 午前9時45分～午前11時45分
- 作業区域 雁子浜JRガード下～直江津精密Pまで、3カ所に分れて作業します。
- 内容 散乱ごみ等の一掃(可燃・不燃ごみ分別不要及び粗大ごみの回収等)
- 主催 まちづくり大潟
- 共催 上越市
- 後援 大潟区町内会長協議会 上越市不法投棄防止情報連絡協議会北部支部 大潟区生活環境協議会
- 参集場所 大潟区体育センター前 駐車場(午前9時45分までに集合願います。)
- 申込み・問い合わせ 3月16日(金)までに、まちづくり大潟へ(TEL 534-6810)



大潟の冬は

さらさら

震災から逃れ、大潟で生活している福島の方々がはじめて経験する雪の中の生活。慣れない環境で日々ご苦労されているのではないだろうか。少し心配しながら雇用促進住宅におじゃましてお話を伺いました。

今年の新潟県は降雪が例年の2倍以上となつています。大潟の降雪量も一時、1mほどの雪に覆われ除雪に追われる日が続きました。

福島の方々は新潟の冬という、暗く厳しい風雪と寒さ、雪にすっぽりと埋まった家々、買い物にも支障をきたす道路状況の悪化など異質の生活を想像しておられたようですが、「大潟の冬は、乗り切れそうです」と話しておられました。

びっくりしたのはお天気が急変する事で、「晴れ間は続かないのですね」「雷が鳴り始めると雪が降るといふ話を地元の方から聞きました」とも話してくれました。



濡れてしまうのも気にせず、雪の上を駆けまわる様子は何処も一緒です。

福島の方々と共に故郷を見つめたい!

「だんだんフェスティバル」開催のお知らせ

プライベート&ステージイベント&グッズオフ
 日時 3月18日(日) 11時～15時
 場所 大潟老人福祉センター
 (入場は無料ですが、義援金箱を設置します。)
 主催 海音鼓
 後援 上越市、社会福祉協議会大潟支所、まちづくり大潟、大潟町観光協会、鶴の浜温泉組合

◆まちづくり大潟にご寄付を戴きました
 この度、まちづくり活動に役立てて欲しいとご寄付を戴きました。ありがとうございます。区民のために役立つよう大切に使用させていただきます。

杉田医院 院長 杉田玄様
 3万円

大潟区暮らしのカレンダー 3月

月・日	曜日	行事等	問合せ先
3・1	木	いきいきサロン 渋柿浜	まちづくり大潟
3・4	日	第47回 大潟卓球大会 大潟体育センター (8:30開会式、8:45競技開始)	あおがたスポーツクラブ
3・8	木	いきいきサロン やすらぎの家	まちづくり大潟
3・10	土	えほんのひろば (10:00~11:00) 大潟地区公民館	大潟地区公民館
3・13	火	3か月児健診 (13:00~13:20) 保健C【H23年11月~12月生】	市福G
3・15	木	いきいきサロン 土底浜	まちづくり大潟
3・19	月	ふれあい総合相談 (13:00~16:00) コミプラ	上越社協
3・21	水	いきいきサロン 下小船津浜	まちづくり大潟
3・22	木	いきいきサロン 犀潟	まちづくり大潟
3・27	火	3歳児健診 (13:00~13:20) 保健C【H20年12月~H21年2月生】	市福G
		いきいきサロン 上小船津浜	まちづくり大潟

まちづくり大潟 534-6810
 大潟区総合事務所 総務・地域振興G 534-2111(代)
 産業建設G 534-6803
 市福G 福祉担当 534-6805
 生活担当 534-6807
 教育・文化G 534-6808
 大潟地区公民館 534-4367

《定休日等》
 人魚館定休日(火曜日 祝日の場合は翌日)
 祝日の場合は翌日) 体育センター、体操アリーナ休館日(月曜日 祝日の場合は翌日)

◆平成24年度 し尿くみ取り収集日
 平成24年4月から平成25年3月までのし尿くみ取り収集実施日(※浄化槽は除く)は左記のとおりです。
 くみ取りを行う業者・・・(財)上越市環境衛生公社
 ☎543・4121

	A地区	B地区	C地区
	雁子浜 九戸浜 瀧町5区	瀧町1~4区 四ツ屋浜 土底浜東区 中区	土底浜上区 下小船津浜 上小船津浜 渋柿浜 犀潟
4月	6日(金)	13日(金)	25日(水)
5月	2日(水)	11日(金)	23日(水)
6月	1日(金)	8日(金)	27日(水)
7月	6日(金)	13日(金)	25日(水)
8月	3日(金)	10日(金)	22日(水)
9月	7日(金)	14日(金)	26日(水)
10月	5日(金)	12日(金)	24日(水)
11月	2日(金)	9日(金)	28日(水)
12月	7日(金)	14日(金)	26日(水)
1月	4日(金)	11日(金)	23日(水)
2月	1日(金)	8日(金)	27日(水)
3月	1日(金)	8日(金)	27日(水)

男性の料理教室

男性が自分で作る楽しさと食事の重要性を知り、そして仲間作りができるよう「男性の料理教室③」を開催いたします。初心者の方大歓迎です。
 ◆日時：平成24年3月16日(金) 9時30分~13時30分
 ◆料理内容：今回は肉料理をメインに計画中です。
 ◆会場：大潟保健センター2階
 ◆費用：3000円
 ◆定員：男性15名
 ◆持ち物：エプロン、三角巾、筆記用具
 ◆講師：食生活改善推進委員
 ◆申込み：3月9日(金)まで 上越市社会福祉協議会大潟支所
 ☎534・2410

まちづくりの活動紹介

『夏は来ぬ』の歌は有名ですが、卯の花を知る人は少なく、毎年7月に行われる『卯の花音楽祭』でも、参加者から「卯の花はどんな花ですか？」と聞かれました。

産業振興部会の取り組み事業②

卯の花の育成、普及について

私達が小学校の頃歌った『夏は来ぬ』は三重県出身の歌人で国文学者の佐々木信綱先生の作詞に大潟区出身の小山作之助先生が曲を付けたもので、名曲として全国民が愛唱しています。

三重県鈴鹿市の佐々木信綱記念館の隣にある生家の裏庭にウツギ(卯の花)の生垣があり、大潟で育てられている卯の花のルーツはここにあります。



卯の花を使った垣根

『夏は来ぬ』の歌は有名ですが、卯の花を知る人は少なく、毎年7月に行われる『卯の花音楽祭』でも、参加者から「卯の花はどんな花ですか？」と聞かれました。

そこで、私達は、卯の花(ウツギ)を挿し木して育て、音楽祭の来場者に配り、卯の花を知っていただくことから始めようという取り組みをしました。

最初の年は150本用意する予定が三分の一程しか育たず、業者から購入して配りました。2年目を以降は、順調に育成することが出来るようになり、現在も継続しています。

部会では、更に普及を図ろうと、昨年、まちづくり大潟の広報で鑑賞用や垣根用として希望者を募ったところ、約20人から申し出があり、150本の苗木を配りました。

その時、「歌に出てくるように垣根を作りたいが、見本を見せてほしい」との要望がありました。大潟には素晴らしい垣根を作っている家庭もあるので、花の咲いている時期に写真に撮らせてもらって広報などで紹介したいと思っています。今年も希望者には苗木を配布し、普及をしていきます。

特産の日本いちじくを育てませんか！

いちじくの苗木育成中!



産業振興部会の取り組み事業①で紹介した日本いちじくの苗木を左記のとおり格安に販売します。いちじくをお菓子や料理に使いたいという業者が増える中、今後とも将来需要に見合う供給が出来る体制作りをしていきます。区民の皆さま是非、いちじく栽培に取り組んでいただきたいと思っています。

いちじくの苗木販売

日時、3月20日(祝日)

9時~10時半

場所、(株)大潟商会駐車場(九戸浜)

価格、1本、2000円

申込み、3月15日まで

まちづくり大潟事務局
☎534・6810

一人2本までとし、無くなり次第申し込みを締め切ります。

おがたあんなことこんなこと

「はばたきふるさと新聞」ふるさと自慢を探して！

ふるさとの良さを学んできた6年生(はばたき学生)は、夏の『ふるさと祭り』以降、更に関心を寄せ、ふるさとについて考えてきました。そして、10月28日からは『はばたきふるさと新聞』を発行しています。

新聞は子供たちが手書きをし、A3サイズ表裏に印刷。2ページ立てで毎週発行。

トップに学校や地域のニュース。他に、大潟と福島、それぞれのふるさと自慢。地域で活躍している人やふるさとの良さを語ってくださる方へのインタビューの様子など、新聞はふるさと自慢がいっぱいです。卒業まであとわずか、最終18号まで力を合わせて作り続ける6年生の活躍が楽しみです。



まちづくり大潟取材している6年生記者

僕らが子供だった頃
「遊びの思い出」
私たちが通った(昭和23年)小学校は、今の中学校に併設された分校でした。雁子浜、九戸浜、潟町の子供が3年生まで通い、4年生から本校のある土底の小学校へ登校しました。
学校までは4kmあまりの距離でしたが、当時は乗り物がなく、砂利道を、粗末な雨具や履物での徒歩通学でした。登下校で苦しく、大変だった記憶は全くありません。途中の道草の楽しい思い出だけが残っています。
晴れた日の冬の遊びはスキーです。当時は県道といつても除雪はされず、車も全く通らなくなりません。したがって、県道を挟んで北側の砂山から道を横切って鵜の池側へ滑り降りるコースはスピードが出てスリル満点でした。
また、空気銃で、すずめ撃ちや空き缶を的にした射撃遊びが



潟町5区 田村和夫さん



春以降の遊びで、今では見られなくなつたものに小砂利を弾にするゴムのパチンコ、4〜5寸の釘を用いた釘出し、クモの巣状の釘刺し、フナ釣り、針魚とり、ビー玉、こま、ぱうち、ゆるみ鉄砲、銀やんまつり、メジロつりなど数え上げればきりが無いほどの楽しみが有つたことが思い出されます。

《今月の三句》の句会

冬空のかいま一刷け雲の彩

工藤ノリ子

絵手紙で近況知らせ冬籠

平原 幸代

冬の天呑んで大しけ浜七里

藤縄 芳子

みなさまのライフラインをお守りします! 365日フルタイムサービス

防炎・防災グッズ通販も★ <http://www.izumi-bousai.com>

街の「困った」にプロが駆けつけます!

トイレ、お風呂のリフォームしたいんだけどどこに電話したらいいのかしら?
おかあさん、トイレ変だよー

どーしよ〜水漏れが止まらないわ
そろそろこのコンロもだめねえ

お湯の出が悪いのお
お気軽にご連絡ください

地域の皆様と共に あなたの街の親切なガス・上下水道・リフォーム屋さん

株式会社 **イズミ** 大潟営業所

上越市大潟区犀潟 624-2

☎ 025-534-6886

本社 / 上越市黒井 2598-29 TEL.025-544-5510 店舗営業所(防災・防犯) / 上越市下荒浜 423-1 TEL.025-544-4838

堀口すみれ子さんの講演会

詩人・父・堀口大学を巡る人々

日時 平成24年4月21日(土曜日) 午後2時から

場所 樹下美術館 陶芸ホール (約60席)

◆ 入場整理券 1,000円(当日窓口でお求め下さい)

◆ お申し込み あらかじめ樹下美術館の窓口か、お電話で

◆ 電話番号 025-530-4155

五周年記念 樹下美術館

戦争末期妙高に疎開した堀口大学は高田に移住。昭和25年高田を引き上げる際に作った詩が記されている。

高田公園お濠端にある堀口大学の歌碑